日本商工会議所
The Japan Chamber of Commerce and Industry

業種別の動向

前月と比べたDI値の動き　↗ 改善　→ ほぼ横ばい　↘ 悪化

建設業

中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー・資材価格の上昇や調達困難化の影響は継続しているものの、設備投資需要がけん引し、改善。ナフサ関連の資材を取り扱う事業者では、受注の減少や工事の延期・縮小等の影響が続いている。

- 「中東情勢の影響に伴う資材価格の上昇や調達困難化の影響が継続しており、一部の同業他社からは受注の減少や工期の延期・縮小等が聞かれるが、全体としては設備投資需要がけん引する形で受注に持ち直しの動きがみられる」（一般工事業）
- 「ナフサショックにより当社が使用する資材の約９割が調達できなくなった」（塗装工事業）

製造業

設備投資需要が底堅いことに加え、一部で中東情勢の緊迫化に伴う調達困難化に落ち着きが見られ、改善。一部事業者からは、2027年のエアコンの省エネ基準改定に伴い駆け込み需要が起きているとの声が聞かれた。

- 「足もとで資材の調達困難化に解消の兆しが見られ始めている。政府のアナウンス効果で企業の不安感が多少和らいだ印象がある」（窯業・土石製品製造業）
- 「猛暑予想や省エネ基準改定前の安価な現行基準品に対する駆け込み需要を背景に、エアコン関連の受注が改善傾向にある。人手不足対策として搬送ロボットやAIの導入による生産性向上を図っている」（電気機械器具製造業）

卸売業

設備投資需要を背景とした製造業からの引き合いが増加し、改善。一部事業者からは、原油由来の資材の調達環境に持ち直しの動きが見られているとの声が聞かれた。

- 「AI需要の拡大等から世界的に工作機械の需要が増加しており活況である」（機械器具卸売業）
- 「中東情勢の影響に落ち着きが見られ、一部商品については出荷が再開されたほか、代替品の提案も増えてきた。しかしながら、仕入価格の上昇は継続しており、販売先に価格改定を交渉している」（包装資材卸売業）

小売業

自治体による物価高対策の効果や夏のボーナスへの期待感が消費マインドを下支えする中、仕入価格の上昇を受けた価格転嫁に進展が見られたことなどから、改善。

- 「自治体による物価高対策のキャンペーン施策の効果が大きく、一時的であるが売上が大幅に改善した」（総合スーパー）
- 「メーカーからの値上げ要請を踏まえ、全品１～２割程度の価格転嫁を実施する。売上は拡大が見込まれるが、衣料品の値上げがどこまで受け入れられるか不安もある」（衣料品小売業）

サービス業

中東情勢の緊迫化に伴う調達困難化や利益率の悪化は継続しているが、価格転嫁に進展が見られ採算が改善したことなどから、ほぼ横ばい。自治体による物価高対策や観光キャンペーンの効果を指摘する声も聞かれた。

- 「入手困難になっていたオイル類の調達環境は改善されつつあるが、価格高騰は継続している」（自動車整備業）
- 「足もとで地元客による部活やクラブチームの宴会予約が増加しているため、10年ぶりに一部料金の値上げを実施した。今後、売上・採算の改善が期待される」（飲食店）